

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	880 消防庁舎施設維持整備事業							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防総務課 経理係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定＋任意		
予算科目	01-090103-11 常備消防施設に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	令和元年度～			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	電気事業法、消防法、建築基準法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律				事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
消防庁舎の施設・設備を計画的に整備改修し、その機能保全と職場環境を維持管理する。				・消防庁舎の施設および設備の整備改修 ※必要な工事に対して優先順位をつけ計画的に実施するとともに、突発的な庁舎等の施設及び設備の改修・修繕について必要性を考慮し対応する。				
評価								
事業計画				活動実績				
・豊里分署建具等交換修繕及び食堂照明設備交換修繕 ・桜分署分署長室照明設備交換修繕 ・並木分署車庫シャッター修繕 ・南消防署女子仮眠室エアコン修繕 ・桜分署防水改修工事設計委託 ・筑波分署庁舎防水改修工事 ・消防庁舎空調設備増設改修工事設計委託 ・筑波分署自家発電設備更新工事設計委託 ・中央消防署特殊建築物定期点検業務委託				・豊里分署建具等交換修繕及び食堂照明設備交換修繕 ・桜分署分署長室照明設備交換修繕 ・並木分署車庫シャッター修繕 ・南消防署女子仮眠室改修工事 ・桜分署防水改修工事設計委託 ・筑波分署庁舎防水改修工事 ・消防庁舎空調設備増設改修工事設計委託 ・中央消防署特殊建築物定期点検業務委託 上記他19事業の修繕等を実施する。				
成果				課題				
事業計画された修繕及び突発的に発生した庁舎施設等の不具合に対し修繕を実施し、庁舎の健全な機能を保持し、良好な職場環境を維持管理することができた。				各庁舎施設とも竣工後の年数がかなり経過しており、不具合や設備保証期間切れに伴う交換修繕が増えてきている。				
改善目標（R02年度にむけて）								
昨年度から進めている照明器具のLED化や各庁舎における施設の修繕や交換更新事業等に優先順位をつけ、計画的に職場環境の改善をすすめる。また、修繕工事は個別の計画に基づき公共施設整備課と連携を密にし業務を遂行する。								
指標の推移								
1	指標名	工事請負による修繕工事数・修繕料による施設等修繕数 (件)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	10.0	0.0
	実績	37.0	30.0	32.0	33.0	27.0	27.0	0.0
2	指標の概要	工事請負による修繕工事数・修繕料による施設等修繕数						
	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	13,600	13,600
	その他	(千円)	646	281	659	659
	一般財源	(千円)	55,641	72,728	77,892	77,892
事業費計		(千円)	56,287	73,009	92,151	92,151
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.90		
		時間外勤務 (時間)	47.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,174	6,477		
事業コスト		(千円)	63,461	79,486		

R02年度当初積算根拠	消防施設費	
	・需用費	33,375千円
	・役務費	3,540千円
	・委託料	16,653千円
	・使用料及び賃借料	7,209千円
	・工事請負費	28,689千円
	・原材料費	37千円
	・備品購入費	2,648千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8,130	7,971	11,626	11,626
事業費計		(千円)	8,130	7,971	11,626	11,626
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.70		
		時間外勤務 (時間)	56.00	39.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,196	5,037		
事業コスト		(千円)	15,326	13,008		

R02年度当初積算根拠	消防施設費	
	・需用費	6,664千円
	・役務費	380千円
	・使用料及び賃借料	4,335千円
	・公課費	247千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	19	19	19	19
	一般財源	(千円)	15,795	13,832	13,440	13,440
事業費計		(千円)	15,814	13,851	13,459	13,459
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.30	1.50		
		時間外勤務 (時間)	102.00	84.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	9,429	10,382		
事業コスト		(千円)	25,243	24,233		

R02年度当初積算根拠	常備消防費	
	・報償費	30千円
	・旅費	2,622千円
	・交際費	60千円
	・役務費	539千円
	・負担金	10,208千円

予算の方向性	理由
維持	

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,108	5,344	6,492	6,492
事業費計		(千円)	5,108	5,344	6,492	6,492
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.70	1.50		
		時間外勤務 (時間)	135.00	84.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	12,332	10,382		
事業コスト		(千円)	17,440	15,726		

R02年度当初積算根拠	常備消防費					
	・報酬	900千円				
	・委託料	5,592千円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	29,367	29,565	28,719	28,719
事業費計		(千円)	29,367	29,565	28,719	28,719
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.90		
		時間外勤務 (時間)	56.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,196	6,477		
事業コスト		(千円)	36,563	36,042		

R02 年度当初 積算根拠	常備消防費 ・需用費 28,719千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	885 消防職員委員会運営事業							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防総務課 総務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-090101-11 消防総務に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間	令和元年度～		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画					<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令	消防組織法、つくば市消防職員委員会規則			事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
消防職員の意思疎通を図るとともに、意見を反映し易くすることにより、職員の士気を高め、円滑な消防事務の運営に資する。				<ul style="list-style-type: none"> 消防職員の中から推薦又は消防長から指名された計18人で構成された委員会で、消防職員から提出された意見に対し審議し、審議結果及び意見を消防長に報告する。消防長は意見の趣旨を尊重し実施することが適当であると認められるものについて、予算要求・調整の上、業務に反映させていく。 				
評価								
事業計画				活動実績				
4月～5月 委員及び意見取りまとめ者の指名 6月～7月 意見提出期間 8月 消防職員委員会開催 9月 審議結果及び消防長処置の通知				5月15日 委員18名、意見取りまとめ者4名を指名 5月15日～6月17日 意見提出期間 7月22日 消防職員委員会を開催（4件の審議） 9月2日 審議結果及び消防長処置を通知				
成果				課題				
提出された意見について審議した結果、1件の意見については、調整のうえ消防事務に反映させることが出来た。また、見送られた3件についても職員間の意思疎通に繋がり、職員全体の士気を高めることが出来た。								
改善目標（R02年度にむけて）								
指標の推移								
1	指標名	消防職員委員会審議数 (件)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
	実績	2.0	3.0	5.0	1.0	3.0	4.0	0.0
	指標の概要	消防職員から提出された意見のうち、実際に審議された意見数						
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	79.00	56.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,253	7,196		
事業コスト		(千円)	7,253	7,196		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	886 消防統計、消防年報の編集発行事務							
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部消防総務課 企画係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-090101-11 消防総務に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	令和元年度～			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	消防組織法				事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
つくば市の消防現勢や消防・救急・救助等の活動概要の統計及び消防年報を、広く市民等に周知することで、防災に役立ててもらおう。					<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模の消防統計調査におけるつくば市の消防現勢等を全国消防長会及び総務省消防庁へ回答する。 ・消防年報を編集発行し、つくば市ホームページへの掲載及び図書館等に冊子を提供する。 			
評価								
事業計画					活動実績			
5月 消防現勢等調査及び消防装備等実態調査 6月 消防防災・震災対策現況調査 7月 つくば市消防年報 上記月を期限として調査報告、冊子発行・ホームページ掲載を行う。					5月16日 消防現勢等調査及び消防装備等実態調査を報告 5月31日 消防防災・震災対策現況調査を報告 7月23日 つくば市消防年報を発行・ホームページに掲載 8月13日 消防施設整備計画実態調査を報告			
成果					課題			
各調査について、指定期日までに報告を完了することが出来た。 また、消防年報を冊子発行やホームページに掲載することで、防災資料として広く活用してもらおうことが出来た。					消防年報については、ホームページにデータを公表しているが、年報資料内に利用制限のあるキャラクター等の使用があるため、オープンデータが出来ていない。			
改善目標（R02年度にむけて）								
ホームページのオープンデータ化に向けて、キャラクターの利用制限の解除を検討していく。								
指標の推移								
1	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	1.00	1.00		
		時間外勤務	(時間)	79.00	56.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	7,253	7,196			
事業コスト		(千円)	7,253	7,196			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		